

岐阜市ゼロカーボン市民懇談会

第1回 気候変動の現状と課題

令和7年10月4日(土) 9時～12時

参加者：37名

進行：神田浩史(NPO 法人ぎふ NPO センター 理事)

・はじめに：浅野 恭一(岐阜市ゼロカーボンシティ推進課 課長)

●岐阜市の未来について、いろいろな意見を話して欲しい

●いただいた意見やアイデアをもとに、岐阜市の施策として取り組めるよう検討していきたい
などが語られました。

・参加者自己紹介

参加者同士で、「参加の動機」や「市民懇談会への期待」を話しました。

・講演：田浦健朗氏(認定 NPO 法人気候ネットワーク 理事・事務局長)

「気候変動の現状と課題」

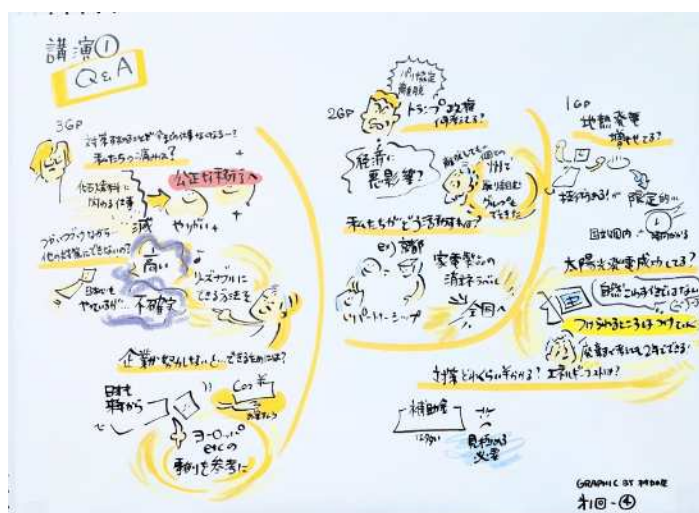
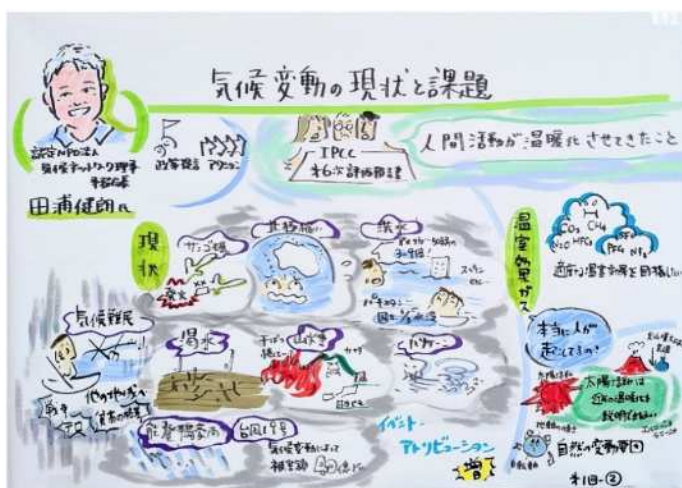
●気温上昇が1°C程度で、海面上昇や気候難民など大きな被害が現実

●温室効果ガスの削減と脱炭素化社会の実現が必要

●COP28 で、「化石燃料からの脱却」が合意された

などが語られました。





- ・講演：三上直之氏(名古屋大学大学院環境学研究科 教授、市民懇談会アドバイザー)
- 「各地で開催される気候市民会議とその意義」
- 「杉並区気候区民会議」や「気候市民会議さっぽろ 2025」など、各地の事例を紹介
 - 多様な市民が集まり、問題について知り、ともに考え、話し合うことで、実効性のある対策が生まれる
- などが語られました。



・岐阜市からの情報提供

「岐阜市の脱炭素について 岐阜市ゼロカーボンシティ宣言の目指すもの」

- 岐阜市の長期目標「2050 年度における温室効果ガス排出量実質ゼロ」
- 岐阜市の CO2 排出量は家庭部門が 32.5%(2021 年度)
- 2 つの気候変動対策「緩和」と「適応」

などについて、情報提供されました。

第1回ゼロカーボン市民懇談会の記録



次回から本格的にアクションプラン作成に取り組みます。